

東京都立練馬高等学校 同窓会会報



いちよう
とも
银杏の朋

银杏の朋 第16号

2022年8月31日発行

発行：東京都立練馬高等学校同窓会事務局

〒179-0074 練馬区春日町4-28-25

編集：银杏会会報委員会



練馬高校正門前

2022年度同窓会総会のご案内

同窓会の今を知っていただく良い機会です。
現在の運営状況とこれからの活動方針についてお話しします。
ぜひ母校にお出かけください。お待ちしております。

日時：2022年11月12日（土） 受付：13時30分 開始：14時

会場：東京都立練馬高等学校 1階会議室

議題：活動報告および活動方針

新役員の承認

決算および予算の承認

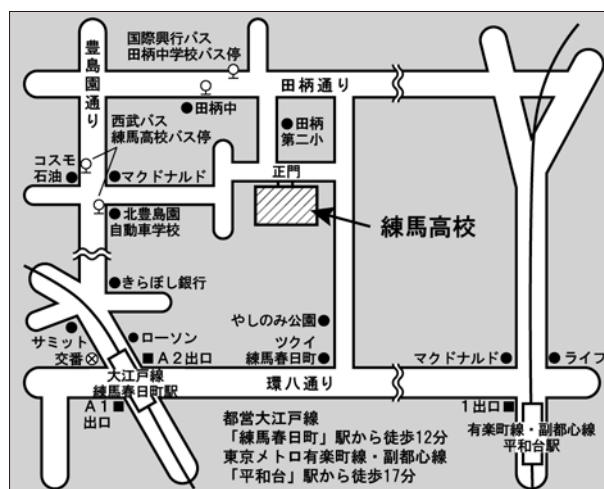
【出欠登録方法】

1. 右記のQRコードから
 2. ホームページから <https://www.neritaka.com>
トップ→総会・懇親会→出欠申込とお進みください。
- ※ 当日、直接会場にお越しいただいても構いません。



マスクをご着用の上、ご来場いただきますようお願い申し上げます。

案内図





来年60周年を迎える母校 開校時の経緯と崇高な校歌の意味

同窓会会長 須藤 勝
(3期生)

私は1965(昭和40)年4月入学の3期生です。私にとって先輩である1、2期生が入学したのは、現在の場所ではありませんでした。都立第四商業高校の片隅に、いわば「間借り」して高校生活が始まったのです。当時の商業高校では圧倒的に女子生徒が多く、先輩たちはとても肩身が狭かったことが推測されます。現在の場所に校舎が完成したのは、私たち3期生の入学からでした。1期生は2年間、2期生は1年間の間借り生活であり、部活をするのにも、学校行事をするのにも不自由なことだったと思います。その点では私たち3期生は恵まれていました。

本来、入学式は自分たちの校舎で行うのですが、東京都が校舎の敷地買収をするのに地主さんたちと交渉が進まないうちに、生徒募集が始まってしまったからです。当時は、今の学校の敷地は広々とした麦畑や芋畑だったのです。テレビのニュース番組でも練馬高校の敷地買収交渉の様子が放映されていました。

3期生が入学する前年度の夏ごろようやく交渉が成立し、校舎建設にこぎ着けられ、校舎の着工が始まったと聞いております。しかし、このように難産だった練馬高校の経緯にもかかわらず、先輩たちはとても優しく、優秀な人が多かったと思います。また、先生方もとても立派な方々でした。授業の質も高く、部活動や学校行事にも献身的に指導・協力してくださいました。1期生、2期生の進路は、東大などの国立大学や早稲田、慶応などの難関大学に進学し

た人が少なからずいたのです。

私たち3期生も学校の校舎はあったものの、黒板や机・椅子にビニールが貼ってあり、新品のまま使うことは新鮮でした。しかし、校舎以外は体育館もなく、部室もない中で、高校生活が始まりました。グラウンドには瓦礫などが散乱し、ならされていないので、体育の時間に瓦礫拾いや手押しのローラーで地ならしの作業をしました。運動場として使用できるようになるためには数カ月かかりました。

学校の校歌が作られたのも、私たち3期生の入学後でした。歌人で文学博士の木俣修先生が歌詞を寄贈してくださいました。

木俣先生は、何度も来校されて、学校の様子や生徒たちの様子を頭に入れて歌詞を練ってくれました。そして木俣先生は、校歌を披露するときに学校に訪れて、全校生徒の前で校歌の歌詞に込められた深い意味の解釈を分かりやすく講演してくださいました。この校歌には、1番は1年生、2番は2年生、3番は3年生の生徒へのメッセージになっています。一口で言えば、「立志」「自律」「飛躍」をうたっています。

この崇高な校歌の歌詞を、私は生涯胸に納めてきました。そこから60年を迎える学校の繁栄に胸が熱くなる思いです。今後は、百年を超える名門校になっていくことを心から祈っています。私たちの同窓会「銀杏会」もさらなる飛躍を目指してまいります。※校歌のメロディーと歌詞は、同窓会ホームページの「練馬高等学校校歌」に掲載しております。



創立60周年を迎える伝統校へ

練馬高校 校長 宮野 聡

令和4年4月1日付けで、本校第17代校長として着任をしました宮野 聡(みやのさとし)と申します。よろしく願いします。

【自己紹介】

私はかつて、平成2年4月から平成9年3月まで本校に英語科教員として勤務しておりました。今回、校長として本校で再び勤務することになりましたことに、本校との強い縁を感じております。

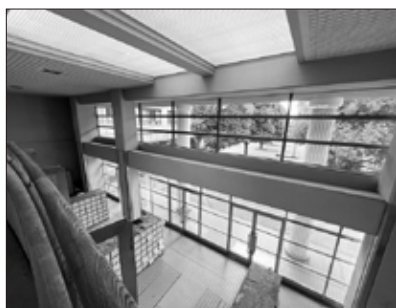
【学校の現況】

さて、本校は令和5年に創立60周年を迎えます。毎年制作する学校案内にも「文武両道の伝統校」と記し、生徒たちは落ち着いた学習環境の中で学習に取り組むとともに、放課後は各自が好きな部活動などを精力的に行っています。

生徒数は、男子375名、女子357名、合計732名の生徒が在籍しています。生徒たちの居住地で多いのは、練馬区が43.6%、板橋区が17.6%、中野区が9.2%であり、その他広範囲の区市から通学しています。練馬区内に在住する生徒が多いためか、約63%の生徒が自転車のみで通学しています。

【思いやりのある生徒たち】

過日、本校近隣で、女性が車と接触してしまい倒れていたところを見つけた本校1年生の男子2名が救急車を呼ぶとともに、救急車が到着するまで女性を介抱するという実に立派な人命救助を行いました。その女性から後日学校に感謝の連絡が入り、このことが明らかになりました。この善行は東京都教育委員会にも報告をさせていただきました。このように、思いやりのある優しい生徒が集う本校の歴史が続いています。



練馬区の人気校

練馬高校 副校長

堀内 明子

令和4年4月1日付けで、本校副校長として着任をしました堀内 明子（ほりうちあきこ）と申します。よろしくお願ひします。

【自己紹介】

私の専門は芸術科の音楽です。専門は声楽専攻で、オペラなどを学んでいました。二期会の会員です。お薦めのオペラは、リヒャルト・シュトラウスの『薔薇の騎士』です。カルロス・クライバー指揮のものがお薦めです。同じく、リヒャルト・シュトラウス作曲の『4つの最後の歌』です。また、アルノルト・シェーンベルクの『浄夜』です。挙げ出したらキリがありませんので、3曲に絞らせていただきました。私の大学時代は、いわゆる「オタク」でした。こういうオタクだったのかというところ、カルロス・クライバーという指揮者の大ファンで、クライバー指揮の『薔薇の騎士』のオペラを4回観に行きました。また、自分の好きな歌手や演奏家は東京公演のみならず、大阪公演まで聴きに行く、ということは当然前にやっていたと思います。お小遣いの全てを演奏会のチケット代や、CD代につぎ込んでいました。

さて、昨年度までは、隣の田柄高校に9年間勤務していました。田柄にいたときは、「練馬高校は部活が盛んで、練馬区の人気校」だと思っていました。そんな練馬高校に赴任することができ、とてもうれしく思っています。これから、皆さんと練馬高校をさらに盛り上げていけるよう陰ながら努めさせていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

青年海外協力隊を終えて

練馬高校 教務主任 数学科教諭

山下 慎司

令和元年7月末から翌年3月末まで、青年海外協力隊員として、南アフリカ共和国の学校で、黒人の生徒たちに英語で数学を教えるボランティアをしていました。当初、約1年8カ月の活動予定は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、約8カ月となりました。初めての長期海外生活で、私を感じたこと、成し遂げたかったことを、少しだけお伝えしていきます。

まず、現地での学習支援を通して、数学を体系的に学べる日本の教育システムのすごさとありがたさを感じました。日本の中学数学で学習する「移項」は、現地で使用していた教科書には出てきません。この方法を教えたとき、一部の生徒がとても感心していたことを覚えています。

次に、私にはどうしてもやり遂げたかったことがありました。それはクラウドファンディングで寄付を募り、任地の生徒を日本に連れてくるもので、練馬生との交流も予定していました。しかし、日本へ一時帰国することになり、さらには再派遣の目的が立たないことから、このプロジェクトを実現できなくなりました。もし任地の生徒たちと練馬生が出会えていたなら、お互いにどれだけ素晴らしい経験になったことでしょう。

現地の生徒たちが私たち日本人に抱く憧れや希望、夢を私はたくさん感じることでできました。胸を張って生きていこう。

「夢の翼、南アフリカ」と検索すると、私が作成したブログなどが閲覧できます。

今の時代にあつた
新しい学校行事へ

練馬高校 理科（生物）教諭

小堺 航

令和4年度より新規採用で、歴史と伝統ある練馬高校に着任いたしました理科の小堺と申します。愛嬌があり自身の知らない多くのことを知っている生徒の皆さんと、授業や学校運営など、さまざまな面で支えてくださる周囲の先生方のお力添えにより、初任校での生活を毎日楽しく過ごさせていただいております。本日に感謝しております。今年度の1年間は生活指導部の一員として、部活動や委員会活動、そしてさまざまな学校行事の運営などに携わっております。

令和4年となり、2年ほど前から世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスも少しずつ落ち着きをみせはじめました。体育祭や文化祭、そして修学旅行といった学校行事が完全な形とはいえないまでも、少しずつ実施することができるようになっていきました。ただ2年間という、学校現場にとっては長すぎるブランクがあり、当時の練馬高校の学校行事を知る生徒や先生方は卒業や異動によりほとんどおりません。右も左も分からない状況の中、手探りで当時の練馬高校の学校行事を再現することは非常に大変です。ですが現在在籍している生徒の皆さんや周囲の先生方と協力しながら、練馬高校の歴史と伝統を踏襲しつつも、今の時代に合った新しい行事を成功させていこうと考えております。

未熟な点も多々あるとは思いますが、同窓会の皆さまにとっても懐かしく新鮮な学校を築くことができるように努めてまいります。

部活動を通じて
成長を見せる生徒たち

練馬高校 数学科教諭

原田 康太郎

同窓会の日頃のご支援に感謝申し上げます。今年度から練馬高校に新規採用で勤務させていただいております原田といいます。初任校ということですが、さまざまなことを学びながら過ごさせていただいているのですが、練馬高校に赴任してから感じることは、よく生徒が自主的に行動しているということです。

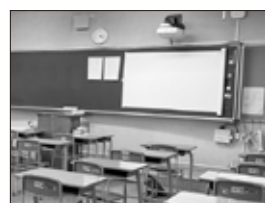
4月からさまざまな行事がありました。対面式、体育祭など学校行事や委員会、部活動など日頃の生活にいたるまで、生徒が任されたから動いているだけでなく、どうすればよりよい形にできるのかお互いに声を掛け合い行動しています。特にそれを感じるのが部活動です。私が所属する部活動では、先日3年生が引退し、1、2年生のみ練習となったのですが、それまで3年生に多くを任せていた1、2年生が部長を中心に早めの準備する、自ら後輩への指導をするなど積極的に練習に取り組むようになりました。その姿は、今まで部活動を築いてきた先輩を追って、さらに良い練習にしようとしているように感じます。そのような練馬高校で指導できることを感謝し、私もそれに負けないくらいの気持ちで、練馬高校を支えていきたいと感じております。また、その練馬高校を紡いできた卒業生の皆さんのご発展をお祈り申し上げます。



練馬高校の“いま”

東京成徳 東京国際 東京工芸 東京家政 帝京平成 帝京科学 多摩 玉川 拓殖 宝塚 高千穂 大東文化 大正 洗足音楽 西武文理 駿河台 尚美学園 城西国際 城西国際 松蔭 淑徳 実践女子 三育学院 国士館 工学院 嘉悦 桜美林 亜細亜

6 5 1 2 7 3 2 1 2 1 2 3 3 1 1 2 3 1 4 1 1 1 2 1 7 1 1 1 4



【短期大学】
秋草学園短
貞静学園短
淑徳大短
女子美術大短
白梅学園短
帝京短

2 1 1 1 2 2

立正 目白 明星 文京学院 文化学園 日本文化 日本体育 日本女子体育 東京獣医生命科学 日本経済 東洋学園 東京福祉 東京電機

進路決定者数	
大 学	93
短期大学	9
専門学校	98
就 職	30
公 務 員	2
進学準備	15
そ の 他	10
合 計	257

令和3年度進路結果

第56回卒業式

2022年3月10日(木)、春を感じられる暖かい陽気の中、第56回卒業式が挙行されました。まん延防止等重点措置が発出されている中での挙行となり、来賓は参列せず、保護者の参列は各家庭1名に制限して執り行われました。

例年では、練馬高校の卒業式の最後に「旅立ちの日に」を合唱していましたが、今回の卒業式では、新型コロナウイルス感染症拡大防止により合唱ができない状況でした。しかし、卒業生たちは最後に思い出を残したいということで、「旅立ちの日に」の指揮と伴奏を行い、卒業生全員が保護者の方へ向き、伴奏を聴きながら心の中で合唱しました。

同窓会からは、今年も卒業生全員へ「ふくさ」を贈呈しました。ふくさについては、練馬高校の先生方にもご好評を頂きました。

今年度の卒業生は、感染防止のためのオンライン授業、修学旅行をはじめ数々の行事が中止になるなど、大変な高校生活でしたが、卒業生258名はさまざまな困難を乗り越え、卒業式を迎えることができました。卒業生の社会での活躍を期待しています。

令和3年度入試状況

【推薦】

【一般】

男子 24名
女子 22名
合計倍率 2.63倍

男子 94名
女子 98名
合計倍率 1.12倍

【スポーツ推薦】

硬式野球 0名
男子バスケット 2名
女子バスケット 2名
女子バレー 2名



第59回入学式

2022年4月7日(木)、花曇りの空の下、第59回入学式が挙行されました。今年度は男子119名、女子121名、計240名の新入生を迎えました。

報道でご存じの方も多いと思いますが、入学式直前になっても新入生の制服が届かないトラブルが相次いだ問題で、練馬高校の新入生にも影響がありました。学校側も見本としてマネキンに着せている制服を貸し出しましたが、それでも間に合わず、泣く泣く中学校の制服を着て入学式に臨んだ新入生が何名もいました。

新入生

プロフィール

練馬高校59期生
6クラス 240名
男子 119名
女子 121名

新入生の出身中学の地区

練馬区 104名
中野区 13名
杉並区 22名
足立区 1名
荒川区 2名
板橋区 38名
北区 6名
新宿区 7名
文京区 1名
豊島区 8名
清瀬市 6名
西東京市 12名
東久留米市 8名
東村山市 6名
小平市 1名
武蔵野市 1名
その他 4名

令和4年度 教職員異動

転入・新規採用

宮野 聡 校長
堀内 明子 副校長
村田 優 国語
大村 侑深子 社会
原田 康太郎 数学
本間 沙也加 数学
小堀 航 理科
片野 真奈 理科
齋藤 浩史 保健体育
佐々木 恵子 英語
佐々木 淳 国語
八巻 百合子 経営企画室
渋谷 真由 経営企画室

日野高校
田柄高校
光丘高校
大崎高校
新規採用
大山高校
新規採用
第三商業高校
荒川商業高校
武蔵丘高校
東大和南高校
新規採用
鷺宮高校

転出・退職

丸茂 聡 校長
粕谷 真由美 副校長
宮崎 香織 国語
深水 美賀子 国語
山田 淳也 社会
黒崎 雅彦 数学
林 壮太郎 数学
本多 雅典 理科
伴 英子 理科
鈴木 聡 保健体育
岩崎 学 英語
成田 裕美 家庭
樟山 美穂 経営企画室
小田 健太郎 経営企画室

足立西高校
井草高校
高島高校
小平南高校
大山高校
竹早高校
小台橋高校
杉並区立荻窪中学校
芦花高校
千早高校
退職
穂ヶ丘高校
大泉校高校
練馬特別支援学校

入学式に制服が間に合わなかった新入生も、週明けの月曜日には新しい制服を着て登校できたことでした。
また、入学式当日は、西武新宿線武蔵関駅で発生した人身事故の影響で、西武新宿線に大幅な遅れが出ました。このため入学式に間に合わず、新入生退場のころに到着した新入生もいました。
入学式のことよりも制服未着や電車の遅延のことに気持ちが向いてしまった先生方もいらっしゃったそうです。
入学式当日、ハプニングが続いたことなど露知らず、練馬高校の裏門付近では桜吹雪がきれいに舞っていました。

練馬高校の“いま”

部活動報告

【陸上部】

・東京都大会出場 男子 走り幅跳び
 ・東京都大会出場 女子 砲丸投げ
 短距離、中距離、走り幅跳び、砲丸投げから自分に合った種目選択を行い日々活動しています。

昨年度は、都大会に進出する生徒が出て、今年度も進出しています。

【男子硬式テニス部】

・5月 インターハイ予選個人 3回戦進出
 インターハイ予選、新人戦において4回戦への出場を目指して練習しています。

【女子硬式テニス部】

・新人戦予選4回戦出場
 曜日ごとにメニューを変えて練習しています。土曜日は練習試合なども入れ、少しでも実戦経験を積むようにしています。少人数ですが、みんな頑張っている目指しています。目標は各大会予選4回戦出場です。

【ソフトテニス部】

・平成30年度 東京都高等学校ソフトテニスインドア大会出場(男子)
 ・令和元年度 第70回関東高等学校ソフトテニス選手権大会個人戦出場(男子)
 ・令和2年度 東京都高等学校ソフトテニスインドア大会出場(男子)
 活動日は週5日で、毎週土曜日はコーチ(部活動指導員)が教えてくださいます!

コーチのご指導の結果、過去3年間で女子はベスト128に入り、男子は関東大会・インドア大会に出場しました。私たちの代でも関東大会・インドア大会出場を目指し、日々頑張っています。

【バドミントン部】

・東京都高等学校バドミントン冬季ブロック大会2部6組準優勝(男子)
 ・新人戦1部大会兼関東選抜大会都予選ダブルス組ベスト8(男子)
 ・シングルス組ベスト16(男子)
 ・国公立大会 都ベスト32(男子)
 バドミントン部は週5、6日で活動しています。男女とも仲が良く、部の雰囲気はとても明るいです。
 都立ベスト16を目指し日々活動に取り組んでいます。

【弓道部】

・年6回の公式大会や区民大会に参加
 弓道部に入部する人のほとんどが初心者です。自分の体力に合わせて弓を使うので体力にあまり自信がない人でも、練習を続けていけば引けるようになります。現在、日々の練習で弓道の技術を向上すること、試合に出場することを目標にして活動しています。さらなる挑戦に向けて日々練習に励んでいます。

【ボランティア部】

・練馬区・板橋区を中心に、児童館・福祉施設などのお祭りのお手伝い
 ・障がいのある方の運動会のお手伝い
 ・高齢者施設での交流
 ・春日町会の防災訓練参加・お手伝い
 ・光が丘公園の春・夏・冬のフェスティバルお手伝い
 ・病院で過ごす子どもたちへ贈るクリスマスカード作成
 ・学校近辺の地域清掃
 ・中高生ボランティア団体のフェスティバル企画・運営
 コロナ以前は土日に多くの校外活動に参加していました。コロナ禍でも、校内やオンラインでできる活動を工夫して継続し、最近また徐々に外部の活動に参加

できるようになってきました。
 部員たちは、制約が多い中、積極的に活動を行っています。

【茶道部】

・学校説明会にてお茶をたてることを中学生と保護者に公開
 数十年前にわたり、裏千家の石井先生に、外部講師として月1回練馬高校に来ていただいております。

昨今の状況下ではありますが、感染に留意し活動しています。石井先生から、人生や茶道についてのお話を伺うことも非常に貴重な経験です。毎度、和服でいらしてくださる先生に部員一同元気を頂いております。

【美術部】

・絵画および各種ポスター制作
 ・毎年「銀杏祭」で作品展示
 ・2021年度・高文連「中央展」2作品出品
 ・PTA会報誌の表紙イラスト制作
 ・2022年度・高文連「総文祭」のための『わがまち自慢』イラスト制作・会場展示
 部員各自がそれぞれの興味関心に応じて、またさまざまなニーズに応える形で、楽しく作品制作を行っています。

【イラスト部】

・部誌(イラスト集)の発行
 ・ラミネートカードやポストカード、プラ板の制作
 先輩と後輩の仲が良く、各自のペースで作品の制作に取り組めるので、自由でアットホームな雰囲気です。
 デジタルを駆使して最先端のイラストを描く人、王道の鉛筆・ペンを使う人、さまざまな個性にあふれた部員たちが自己表現する楽しさを味わっています。

【メーキング部】

コロナ禍の影響が大きく、活動が大きく制限されてきました。そんな中でも、お菓子作りが好き♥という生徒が集い、放課後のひとときを、あまーい香りの中で過ごしています。

【軽音楽部】

平成29年度より、さまざまな大会などに積極的に参加しています。
 また、他校との合同ライブにも積極的に参加をしています。学期に一度の校内ライブ(合同ライブ)も計画し、実施しています。
 スタジオとも提携をしており、多くの生徒が利用しています。

【天文学部】

口径20センチメートルもある天体望遠鏡を使い、四季の星を観測しています。

【写真同好会】

写真同好会は2014年4月に新しくできた(有志で立ち上げた)同好会です。私たちは体育祭や文化祭などの行事撮影、その他の部活動の撮影、学校ホームページの画像撮影などの学校運営への参加をしています。また、自分たちで計画を立て、コンテストへの出品や、風景写真などの活動をしています。男女部員ともに活躍しています。

練馬高校の部活動は他にもたくさんありますが、同窓会に情報をお寄せいただいた部を中心に掲載しました。各部の顧問の先生方、ご協力ありがとうございました。

銀杏会活動報告

2022年1月19日

56期生へ同窓会入会案内を配布
56期生の加入者158名

2022年2月、3月

入学者選抜学力検査の合格者へ合格書類
に同封する形で、入学予定者へ同窓会入
会案内を配布

2022年3月7日

理事会開催
・同窓会総会の準備について
・卒業記念品のクラス分け

2022年3月10日

母校卒業式において、卒業生に記念品と
して「ふくさ」を贈呈

2022年3月12日

同窓会総会開催
丸茂校長、粕谷副校長にもご臨席いただ
き、同窓会の活動方針や会計についての
ご報告を行う

2022年3月24日

新入生招集日において、新入生から同窓
会加入同意書を提出される
59期生の同窓会加入者189名

2022年5月9日

理事会開催
・新校長先生、新副校長先生ごあいさつ
・今年度の活動方針について
・会報発行について
・メールを利用したお知らせ配信につい
ての検討

2022年6月13日

理事会開催

・会報の発行と内容の検討
・お知らせメール配信の運用に向けて
・同窓会総会について

2022年6月19日

お知らせメール配信の運用開始

お知らせメールの詳細は7ページ参照

2022年8月22日

理事会開催
・会報の内容確認
・同窓会総会の詳細について

2022年8月31日

同窓会会報「銀杏の朋」第16号発行

練馬高校の今と昔

8期生の方から、旧校舎とその周辺のお
写真が届きました。旧校舎で学ばれた方
には懐かしい一枚ではないでしょうか。また、
現在の校舎しかご存じない方には、練馬高
校の歴史を感じ取れる一枚となるのではな
いでしょうか。

こちらのお写真は練馬高校文化祭で展示
させていただく予定となっております。
しかし、コロナの影響により、残念ながら
今年も一般公開は中止ということとなり、
皆さまにご覧いただく機会がなかなか持て
ません。そこで、頂いたお写真の一部をこ
ちらで紹介させていただきます。

現在の校舎とその周辺の写真も併せて掲
載しました。旧校舎と新校舎を比較してお
楽しみください。

今回届いたお写真は、同窓会ホームページ
の卒業生レポート「懐かしい写真」に掲
載しております。ご興味のある方は、ぜひ
ホームページ掲載のお写真もご覧ください。

旧校舎とその周辺



管理棟との連絡通路と昇降口



体育館前



校舎南側

現在の校舎とその周辺



昇降口と校舎前面



体育館前（雨天練習場）



校舎南側

同窓会総会報告

2022年3月12日(土)、練馬高校会議室において、2021年度同窓会総会が開催されました。学校側からは丸茂聡校長、粕谷真由美副校長にご臨席いただきました。まず初めに、須藤会長からのあいさつと同窓会の活動報告および活動方針について報告がありました。

前年度はコロナ禍でほとんど活動ができませんでしたが、今年度は何とか会報の発行と総会を開催することができました。また、卒業生には例年どおり、記念品のふくさを贈呈しました。来年度は情勢次第となりますが、練馬高校への支援、文化祭の参加も予定に入れたつ、活動していきたいと思っております。

今年卒業した56期生は158名が同窓会に入会しました。この数は同窓会再建後最多の人数となりました。57期生からは入学時に同窓会加入の希望を確認しており、来年度は200名を超える加入の見込みです。同窓会の加入者も増え、同窓会も少しずつ発展していけたらと思っております。同窓生の皆さまにも、いろいろとアイデアを出していただけるとありがたいですとお伝えしました。

丸茂校長のごあいさつでは、3月10日に行われた卒業式の様子をお話いただきました。コロナ禍での卒業式で、保護者の参列は各家庭1名と制限して挙行せざるを得ない状況でした。例年では練馬高校の卒業式の最後に、卒業生が「旅立ちの日に」を合唱しますが、今回は歌唱ができませんでした。しかし、卒業式をいい思い出にしたという気持ちから、卒業生による指揮とピアノ伴奏を行い、合唱するはずだった曲を聴くという形で行いました。丸茂校長にとっても心に残る卒業式になりましたとのことでした。

早くコロナが収束して、生徒たちが通常

の学校生活に戻れることを願っていますとお話がありました。

粕谷副校長のごあいさつでは、卒業記念品のふくさについてお話しいただきました。ふくさは自分ではなかなか購入せず、改めて用意する機会も少ないものですが、大人として準備しておくことが求められるものの一つであり、練馬高校の先生方からも好評を得ていますとのことでした。

同窓会と先生方とのパイプ役となり、同窓会の活動を伝えていきたいと思っております。よりよくお願いしますとお話がありました。

続いて黒澤副会長より決算報告と予算案について報告がありました。

おもな収入は新規入会者の入会金ですが、今年度は同窓会加入者が増え、収入も大幅に増やすことができました。支出については、おもにレンタルサーバー使用料、卒業記念品、運営費となります。2年間の収支では46万7023円の黒字となりました。予算案については、レンタルサーバー使用料、卒業記念品については例年同様の見込みで、来年度の活動内容により練馬高校の支援や文化祭の参加による費用が掛かります。



2021年度同窓会総会の様子



また、役員の交通費についてですが、同窓会再建を優先するにあたり、1回あたり500円と抑えてきましたが、安定した収入が見込めるようになりましたので、来年度から1回あたり千円とすることを報告しました。

会計監査につきましては、山下会計監査が欠席のため、山下会計監査が署名した決算報告書をもって報告に代えさせていただきました。本誌8ページにも会計報告を掲載しておりますので、ご確認くださいませと幸いです。

今回の総会開催の告知について、会報が郵送されない人には周知されないとのこと指摘と、全員に郵送する予算が確保できないなら、メールやLINEなどのSNSを利用して告知したらいいのではないかとのご意見を頂きました。こちらに関しては、6月より運用を開始いたしました。詳細は下記の「お知らせメール配信について」をご覧ください。

以上の内容で、約1時間で総会は閉会となりました。ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。

次回の同窓会総会は2022年11月12日(土)を予定しております。引き続き新型コロナウイルス感染防止に努めてまいります。ご友人をお誘いご参加いただけますようお願い申し上げます。

新役員紹介

会長	須藤 勝	(3期 69年卒)
副会長	黒澤 敏明	(10期 76年卒)
理事	黒澤 敏明	(兼務)
理事	宮鍋 和美	(28期 94年卒)
会計監査	山下 幸雄	(3期 69年卒)
顧問	伊藤 久雄	(11期 77年卒)
名誉会長	宮野 聡	(現校長)
名誉副会長	堀内 明子	(現副校長)

お知らせメール配信について

同窓会では、年1回会報を発行しておりますが、予算の都合により全会員へ会報を郵送することができず、同窓会からのお知らせをお伝えすることも難しい状況です。そこで、新たに「練馬高校同窓会お知らせメール」の配信を行うこととなりました。

配信の内容はおもに

- ・同窓会会報発行のお知らせ
- ・同窓会総会のご案内
- ・練馬高校文化祭のご案内
- ・ホームページ更新
- ・その他、会員の皆さまへのご連絡など、年数回の配信を予定しております。

お知らせメールの配信をご希望の方は同窓会ホームページ「お知らせメール配信」または左記QRコードから登録ください。

【お願い】

ご登録の際は「heritaka.com」からのメールを受信できるように設定をお願いいたします。



会計報告書

2021 年度 決算報告 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)				2022 年度 予算書 (2022 年 4 月～2023 年 3 月)			
収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,795,616	卒業生記念品	194,250	前年度繰越金	2,142,413	卒業生記念品	200,000
入会金	568,800	練馬高校支援費	0	入会金	500,000	練馬高校支援費	50,000
寄付金	0	文化祭出展費用	0	利息	10	文化祭出展費	30,000
利息	14	会報発行費	11,002			会報発行費	15,000
		同窓会総会費	3,006			同窓会総会費	5,000
		ホームページ維持費	7,124			ホームページ維持費	10,000
		運営費	6,635			運営費	30,000
		次年度繰越金	2,142,413			次年度繰越金	2,302,423
合計	2,364,430	合計	2,364,430	合計	2,642,423	合計	2,642,423

事務局より

同窓会ホームページのご案内

同窓会ホームページでは、活動報告やお知らせなどを随時更新しています。同期会の報告やイベントの告知など、卒業生からの情報も掲載できますのでご活用ください。
ご意見・ご質問・登録情報変更も「お問い合わせ」からお気軽にどうぞ。
スマートフォンやタブレットにも対応しています。
ぜひアクセスしてみてください。

同窓会ホームページアドレス：
<https://www.neritaka.com>

練馬高校同窓会

検索



同窓会への連絡方法

ご意見・ご希望・ご質問などは下記までお寄せください。
会員の皆さまからのお便りお待ちしております。

◆ホームページ
「同窓会へのお問い合わせ」からご連絡ください。

◆メール
info@neritaka.com までご連絡ください。

◆郵便
下記住所まで、はがきか封書でご連絡ください。
〒179-0074 練馬区春日町4-28-25 練馬高校同窓会事務局

ご注意とお願い

◆同窓会が電話などを使って卒業後の進路、勤務先、住所などを確認することはありません。業者が同窓会の名をかたり、調査をすることがありますのでご注意ください。

◆同窓会が特定の企業に会員情報を提供することは一切ありません。ご注意ください。

◆理事としてお手伝いしてくださる方を常時募集しています。
ほんの少しの援助が大きな力になります。
また理事としては難しい方でも、イベントなどで人手が必要な時にお手伝いしてくださる方も募集しています。

お手伝いいただける方は同窓会事務局までご連絡ください。

同窓会への寄付について

同窓会は卒業時の終身会費とご寄付で運営されています。
同窓会会員とのつながりのための事業維持や母校支援のため、ご寄付は大歓迎です。ご協力のほどお願いいたします。

◆銀行振込
みずほ銀行 麹町支店 普通預金 1479353
口座名：ネリマコウコウドウソウカイ
振込人名に卒業回または卒業年、氏名をご記入ください。
例：28ネリマハナコ 1994ネリマハナコ

◆現金書留
練馬高校同窓会事務局宛てにご送付ください。

※同窓会は任意団体のため、寄付控除の対象にはなりません。

編集後記

まだまだ、コロナの影響が続いています。今年も同窓会は文化祭には参加することができません。しかし、同窓会の活動も、少しずつ、体制が整ってきていると思います。新入生から同窓会への加入の手続きを始め、今年度で3年がたちました。また、宮鍋理事の提案でメール配信も始まりました。会報もコロナの影響で発行できないこともありましたが、その年を除けば、発行ができています。

また、同窓会の活動をしてよかったと思うのは、年に何回か練馬高校へ行き学校の中に入れることです。私の通っていたころの校舎はもうありませんし、周りの景色も変わりましたが何となく懐かしさを感じます。来年度からは、コロナの影響もなくなり普通に同窓会活動ができればと思います。今後ともよろしく願っています。

10期生 黒澤 敏明

コロナの収束にはまだ時間がかかりそうな時勢ですが、今年度は同窓会の活動も順調に進み、会報も8月に発行することができました。会報作成にあたり、ご協力いただいた皆さまに感謝いたします。
4月に着任された宮野校長先生ですが、実は私が高校3年時の担任の先生なのです。宮野校長先生は、私が高校在学時に英語の先生として練馬高校にいらつしました。それから30年ほどたつて、母校で再会できるとは思ってもみませんでした。今は練馬高校を訪れるたびに高校時代に戻った気持ちで楽しんでいます。同窓会の理事は大変なときもありますが、同窓会が母校で恩師と再会する機会をもたらしてくれたと思っています。皆さんも同窓会を通じて、練馬高校の新しい一面を探してみませんか。

28期生 宮鍋 和美